



## 身近なものを木に変える「ウッド・チェンジ」 ～花粉の少ない森林への転換を考える～

10月は「木材利用促進月間」です。林野庁では、暮らしの中に木材製品を取り入れることで、日本の森林を育てていく「木づかい運動」を展開し、森林資源の循環利用につながる木材利用の意義を発信しています。

本年は、「森の循環・森と街の循環・展示の循環」をコンセプトに、木材利用が花粉発生源対策やカーボンニュートラルへの貢献、SDGsの取り組み、自然災害防止につながることを、多くの方々に「体験」「実感」「共感」していただくことを目的としたイベント「WOOD DESIGN EXPERIENCE」を東京と名古屋にて行いました（日本ウッドデザイン協会主催。林野庁令和5年度補正予算「花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策」補助事業）。

こちらのイベントで展示された作品を振り返り、花粉発生源対策にも役立つ木材利用の取組についてお話を伺いました。

皆さんもこれを機に身の回りにあるものを「ウッド・チェンジ」してみませんか。

# 木材の利用がどのように花粉発生源対策に貢献するのか

我が国のスギ人工林の半数以上は、本格的な利用期を迎えています。この豊かな森林資源を、木材として有効に活用することができれば、花粉発生源となるスギ人工林を減らすとともに、そこから得られた収入で花粉の少ない森林への植替えを進めることができます。このように、森林を「伐って、使って、植えて、育てる」循環利用を進めることが、花粉発生源対策につながります。



このうち「植える」対策においては、「花粉の少ない苗木」（注）の生産拡大に取り組んでいます。「花粉の少ないスギ苗木」には、花粉を全く生産しない「無花粉スギ」品種の苗木、雄花の着花量が少ない「少花粉スギ」・「低花粉スギ」品種の苗木、成長に優れ、花粉の発生も少ないものとして農林水産大臣が指定する「特定母樹」のスギの特定苗木があります。

少花粉スギと低花粉スギは、成長と形質

## 少花粉スギ



画像提供：国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター

## 一般的なスギ



（注）花粉の少ない苗木とは、花粉の少ない品種から採取された種穂から育成された苗木です。

の優れた「精英樹」から選抜されたもので、無花粉スギは、花粉を全く生産しない突然変異個体を精英樹と交配することにより品種改良したものであることから、いずれも成長や形質の優れた特性を有しており、花粉の少ないスギ苗木の生産量は年々増加しており、現在、生産されているスギ苗木の半分以上は、花粉の少ないスギ苗木が占めています。

## ～ウッド・チェンジロゴマークについて～



ウッド・チェンジロゴマークは、「ウッド・チェンジ」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます。

企業、団体、地方公共団体の方に広くロゴマークをご使用いただくことで、ウッド・チェンジの輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています。

詳しくは、以下URLよりご確認ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>





株式会社長谷萬 開発本部  
もくらボ事業部 高橋将治さん

## 木製個室ブース MOKUCUBE

株式会社長谷萬

### 【商品説明】

国産スギ材をふんだんに使用した木製個室ブース。オフィス、店舗、コワーキングスペース、学校などの使用を想定。オンライン会議、読書、学習、休憩などにお勧め。



### ①元々はなにを作っている会社なのか教えて下さい。

HASEMANグループは、東京木場の木材問屋が発祥の会社です。群馬県館林市の工場で木造建築のプレカット材などを製造しています。

「木を守る。木を生かす。」をブランドス

### ②製品開発にあたり苦労されたところを教えてください。

コロナ禍にて個室ブースのニーズが増えました。しかし本物の木の個室ブースはほとんどなく、オフィスにもあまり木材が使われていない現状でした。木を活かしたい長谷萬としては非常に残念な状況です。オフィスには癒しやゆくもりが求められており、カーボンストックの観点からも、木材のオフィスへの使用は適していると思います。

そのような中で、製品開発にあたっては、木の優しい素材感を活かしながら、通常のオフィス空間にも調和するデザインにすることに注力しました。本物の木材を使う事と、個室ブースに求められる消防火対応や、吸音・遮音性能、寸法安定、価格感などとの両立が難しく、何度もモデルチェンジを繰り返しました。

### ③貴社の製品において、スギ材はどのような効果を発揮しているか教えてください。

スギ材を使用した個室ブースは、リラックスクスでき、集中しやすいと評判です。木目や風合い、香りをお気に召すお客様が多くいらっしゃいます。Web会議が出来て、リラックス空間にもなり得ます。

構造材を兼ねた外装材にも、国産のスギ材を用いており、製品合計で0・186㎡、表面積で8・05㎡分のスギ材を使用しています。日本の森林資源を積極的に活用したいと思います。

### ④木材の利用について社会貢献の面から、貴社において取り組んでいるテーマについて教えてください。

木や木製品を身近なものにするというテーマを持ち、木を使いたい方が、気軽に相談できる窓口となる事を目指しています。オフィスの中に、大がかりな工事ではなく、小さな木の空間が簡単に実現できるような製品開発に取り組んでいます。

### ⑤今後の展望を教えてください。

木質化が有効な小さな空間はMOKUCUBE以外にも、まだまだたくさんあります。例えば、最近空港などにあるカームダウンスペースやクールダウンスペースなどです。そういった空間の木質化を増やし、木の空間が身近にある社会づくりに貢献したいと思っています。





bofoowoo 代表  
本田祥二さん

## みやざきスギのつみき からからつみき bofoowoo

### 【商品説明】

宮崎県産のスギを使ったシンプルなつみき。柔らかな木の触覚、爽やかなスギの香りや心地よい音はストレスを和らげ、遊びながら五感を刺激し集中力と創造力を高めてくれる。



### ① 製品開発に当たり苦労された ところを教えてください。

妻の実家が蒲鉾板専門の木工所だったので木の板(つみき)を生産することにに関しては全く苦労はありませんでした。全国に流通させるための商品化についてはパッケージや遊び方のマニュアル、動画の制作など

工夫をしました。ただの「木の板」が、いかに楽しいツールになり得るのかを伝えるため、全国あちこちでつみき広場を開催しました。

### 3 貴社の製品において、スギ材 はどのような効果を発揮して いるか教えてください。

製品が届いたお客様からパッケージを開けた時のスギの香りや崩れる時の木の音についてお声をいただくことが多々あります。商品名になっている「からからつみき」のからからは、木と木が当たる時の軽やかな音に由来しています。

スギの木でできた「からからつみき」は手にした多くのお客様に癒しを与えてくれていると思います。

### ③ 木材の利用について社会貢献 の面から、貴社において取り 組んでいるテーマについて教 えてください。

地元産の材料を地元で加工し製品化、全国へと発送しています。製品化に関して木材の輸送過程における排出二酸化炭素の量の低減に貢献していると思います。また、建材には適さないスギの端材を主原料としているので、材料の廃棄を少しでも減らす効果。また、家庭内で使用するおもちゃやプラスチック材のものから自然素材に替えることで炭素の固定量の増加、放出量の低減に貢献できているのではと期待しています。

### ④ 今後の展望を教えてください。

からからつみきの楽しさをもっと広く伝わって多くの子供達に楽しんでもらえること、環境負荷の少ない玩具であることが理解され広く認知されること。

宮崎県に限らず全国の地元材を使った「からからつみき」、さまざまな樹種のつみきができるのも楽しいと思います。

からからつみきの材料は、先人たちが未来の子供達のために、50年も前に植えて育てたものです。

そんな材料で作ったからからつみきで、できるだけ多くの子供に「木」で遊ぶことは楽しい!という記憶を作って行きたいと思っています。子供の頃に「木に触れて楽しかった」という思い出は、20年後30年後の木材需要につながることを期待します。





ナイス株式会社  
青木良篤さん(写真左)  
片岡淳さん(写真右)

## クリプトメリア ナイス株式会社

### 【商品説明】

表面が柔らかく、傷のつきやすさがネックとされるスギ大径木に表層圧密技術を施した「Gywood®」を使用し、家具や内装などを制作した際に出る端材を有効活用した筆記用具シリーズ



### ① 製品開発に当たり苦労された ところを教えてください。

材料となったGywood®は通常のスギに比べて硬く、また木材の内部で密度差があるため切削作業にとても慎重になります。また、1本ずつ手作りのため時間も掛かります。

### 2 貴社の製品において、スギ材 はどのような効果を発揮して いるか教えてください。

スギを圧密したことで得られたGywood®はスギの滑らかな肌触りはそのままに、傷つきにくくなっています。日常的によく使用するものであり、常に手に触れる場所であるペン軸に採用することで、肌触りや手に馴染む触感、緻密な木肌・木目、ほのかな芳香が五感を刺激するペンに仕上がっています。

### ③ 木材の利用について社会貢献 の面から、貴社において取り 組んでいるテーマについて教 えてください。

日本国内に多く生育するスギは、その軟らかさから現代では需要が低迷しており、未利用のまま大径化したスギが多くなっています。Gywood®はそれらを圧密することで、世界的に不足しつつある広葉樹・ハードウッドの代替材料になりうる可能性を秘めており、この技術を基にスギの需要を復活・拡大させていきたいと考えています。

また、「脱プラスチック」を旗印に掲げ、日本の貴重な資源であるスギをただ消費するだけでなく、身近で愛用する道具に生まれ変わらせるべく、建築以外の分野にも国産材を使用する活動を進めています。日本の林産業が活性化するためには単価の高い

素材の開発、及び流通が不可欠であると考えており、その分野の一つは非建築分野であると考えています。同時に各地域の森林資源をGywood化する運動を展開することで、日本の林産業を活性化し、日本の文化の継承を行っていききたいと考えています。

### ④ 今後の展望を教えてください。

長い間使用・愛用する生活用品全般を、このペンと同じくGywood®で開発していきたいです。また、開発する商品に応じて圧密率をコントロールし、世界の広葉樹やハードウッドをはじめ、プラスチックやその他材料に代わる素材となれるよう研究を続けていきます。

